



第73号

発行
山辺地区社会福祉協議会
事務局
山辺公民館内 気付
TEL(呼)0284(71)0516

- すなおな心 (はい) 反省の心 (すみません) 謙虚な心 (おかげさま)
奉仕の心 (私がします) 感謝の心 (ありがとう) 山辺地区日常五心



四年ぶりの住民交流、雨にも負けず和やかに
地区文化祭・「社協屋」成功裡に
地区住民の口頃の芸能・芸術・手芸・クラブ活動等の発表の場...

当社協は従来通り二日目に、来場の皆さんに向けて模擬店「社協屋」出店。前日から準備を進めたが当日は予報通り冷たい雨...

- 模擬店ご寄附御礼
三田 敏夫様
萩原 雅之様
八幡2自治会様
三田 忠良様
仁木 明子様
清水 弘子様
吉住 知子様
橋本 静江様
栗原 武 様
山口 陽子様
長内 孝江様
樋口 茂延様
石川商店様
阿左美徑子様
佐藤 京子様
中村 徹 様
岡崎 明子様
堀越 美子様
高瀬 雅子様
田中 榮太郎様
田村 浩子様
山崎 和子様
須永 雅美様
川崎 フミ様
萩原 美子様
上岡 恵子様
増田 晴美様
山崎 和子様
新高橋 紀子様
新高橋 仁子様
山辺子育てサロン
匿名希望二名様
小俣町 広部知津子様より
手芸品



緑橋へ向う土手上。風が強い。

これも4年ぶりの開催。現在中橋架け替え工事が進展中なので、市内中心部の渡良瀬川五橋(緑・渡良瀬・中・田中・岩井)の両岸を歩きながら、新中橋構想や他橋の未来の架け替え構想等を、資料と共に学ぶという委員長渾身の企画にて。田中町連合自治会館を発着基点とした。参加者が3才児から84才の高齢者迄、更に地区内在住のスリランカの一家と総勢32名。中学生が試験中で欠だったが、正に三世代・国際交流ふれあいハイキングとなった。

11月25日好天の下、田中町から緑橋へ向かう。土手上から眺める川と両岸の山はいつもと一味違って見える。
ここで緑橋の八幡町への直線延長計画を聞く。直に関係するだけに皆興味津々。
橋を渡り左岸を東下、整地された本町緑地公園を見ながら渡良瀬橋の歴史と将来構想を聞く。これまた関心大。
中橋を越えて河川敷にて休憩。中橋を見上げながら改修の話をする。来年秋より3年半の通行止めの後、令和10年に完成。(思わず自分の年齢を数える)
カスリーン台風の慰霊塔を参拝して岩井橋を渡り渡良瀬Gプラザへ。ここで昼食休憩。職員に3Fを案内頂く。渡良瀬川の歴史、災害記録等資料は豊富。改修歴史展が3月まで開催中。是非見学される事お勧め。
帰路は田中橋を渡って2時には無事全員帰着、3歳児も家族が押すベビーカー併用で完歩。(パパママジンババお疲れ様)

五橋を巡って、市の未来構想を展望した



クリーン運動にも協力し、中身の濃いイベントでした。
グリーンプラザにて参加者一同

第43回 市消費生活展 開かる

「消費生活術」デジタル社会の進展と消費者のくらし」と名づけて11月12日、プラザにて開かれた。市、公共団体、婦人の会、電気関係、薬剤師、電気保安生協、水道部、等生活のあらゆる側面に関係する多団体の展示。寸劇・紹介、更にバザー、フリーマーケット等も。半日開催のみでは勿体ない中身の濃さ。来年も是非お出かけ下さい。

時の断想

「今日は婦人会の新年会で出掛けるね」お正月に買ったセーターで少しオシャレした母が近所のオバさん達と連れ立ってゆく。
「婦人会」・夏祭り、敬老会、地区体育祭、町内の種々の行事の手伝いだけでなく、料理、生け花、手芸等でも婦人会。山辺地区の文化祭には各町内のお母さん達の力作が並んでいた。
栃の葉国体、国民文化祭、揃いの浴衣で街中を踊っていた。
大正琴にも取り組んでいて、NHKホールでの全国大会にも参加していた。
時を経て婦人会の活動を続けている町の話を聞けなくなった。
今年の地区文化祭のバザーに、一張の大正琴が出ていた。
そして誰かが買って行った。
八幡まる子

- ご寄付・いつも
ありがとうございます
田中町一丁目 宇賀伸律子様 金一封
堀込町二丁目 小林 良子様 金一封
西新井町 須永 国栄様 金一封